

♪.....♪

▲ピカソ通信臨時増刊5号▲

松田真朝&みしま・カオルインタビュー号

2001.10.25.発行

♪.....♪

-■index-----

● “キャンペーン終わって” インタビュー

part1 松田真朝編

part2 みしま・カオル編

●ピカソ通信11号の予告

●ピカソ&みしまへの質問大募集!!

注：このメルマガは等幅フォントでご覧ください

“キャンペーン終わって” インタビューpart1 松田真朝編
#####

○真朝さんの「これまで」と「これから」

今回の「カート」ライブで、キャンペーンが一段落した真朝さん。
彼女の「これまで」と「これから」の活動について
福岡で直撃取材させていただきました。
辻畑さんも一緒です。というか、後半は“語る社長”モード全開！

——今回の一連のキャンペーンで「良かったこと」「大変だったこと」は？

真朝さん（以下「真」）

「良かったことは、忙しかったということ。
忙しかったけどラジオ出演とか、今まで経験しなかったことを
させてもらえたのが、すごく楽しかったです。
大変だったことは、電車の“乗り継ぎ”。2回3回は当たり前。
福岡ではそんなに乗り継ぐことがないから、それが大変でした」

辻畑さん（以下「辻」）

「事務所的に良かったことは、とにかく彼女がキャンペーン第1号で
何も無いところから始まって、いろんなルートをゲットできたこと。
ヒュージというマネージメント会社と契約したことで
きちんとプロモーションが組めるようになったことが大きいネ。
大変だったことは...事務所はいつも大変ヨ(笑) もう辞めたい(笑)」
(横で「やめないで～～」と笑う真朝さん)

——今日のカートライブが終わったら、今後の真朝さんのご予定は？

真「今は曲を作ってます。つい数日前も1曲できたんですよ」

辻「...ホントに？ (^^;」

真「できたんですよー(^^) 出せるんですかねえ？(笑)」

辻「一応、真朝については、来年の春頃に次の曲を出そうと考えてます。

今回、CDの連発は大変ということが分かったので(^^;
今後みしま・カオル、その後11月1日に吉沢梅乃が出るから
その時点でまた、キャンペーンのローテーションを考えようかと。
基本的に、ローテーションは女性陣を中心に組んで
男性陣はピカソも含めて、女性陣のリリースに合わせて出すという
形にして行こうと思う」

——いづれ、真朝さんも上京されるのですか？

辻「本人は上京したいと言ってるけど、事務所的にはもうちょっと、
福岡で頑張っしてほしいと思ってる。というのも、真朝を核にして
九州...福岡を中心に、PROJECT PICASSOの活動を地固めしたいから。
地元って、FM局も押してくれるんですよ。
FM局って第3セクターみたいなものだから、地元アーティストを
育成することには前向きになってくれる。ピカソが直接福岡で...と
いうよりも、真朝が居ることで活動がしやすくなる」

——「八月の恋人」はネット配信とCDとでアレンジが違いますが
今後のMetronom Recordsの新曲も、こういう感じでのリリースに
なるのでしょうか？

辻「配信は“途中の過程”をいち早く聴かせる、ということ。
でも、そのバージョンがイイって場合もあるし、今後もこの形で
行くつもり。
配信が3月以来、まだ更新してないけど、Metronomの全国展開とか
ライブとかキャンペーンとか、いろいろ忙しくて手が回らなかった。
でも新作はあるので、これからはちゃんとやります」

——今回、辻畑さんは福岡に“前ノリ”されたそうですね？

辻「せっかく福岡に来る機会があったから、FM福岡にタワーレコード、
いろいろ回って、上層部の方と逢ってきました。社長業は大変(笑)
真朝のイベントが組めそうなところが、いろいろ分かって良かった」

——やatterることがインディーズとは思えないですよ(^-^)

辻「思えばメジャーレーベルって、実は案外、効率悪いんだよね。
間に人が入る分、マージンもかかってしまうし。
それならむしろ、俺が直接行くよ、って思っ。その方が熱意も伝わるし。
インディーズだけど、変な卑屈さは持ちたくないし、
新人を育てるということを、ちゃんとした形でやりたいから」

*STEVEから「ピカソ通信」あてにメッセージをいただきまして。
真朝さん、「もぉー、やだぁ〜」とテレながらも、ホントに嬉しそうでした。
新曲は来年になりそうですが、福岡を中心にライブ活動をされるそうなので
今後の展開に期待しましょう(^-^)
ちなみに、いただいたメッセージの内容はこちら↓

福岡でのライブ頑張ってください☆沖縄よりエールを送ります。
将来FM沖縄とか沖縄TVとか琉球放送に出演できるといいですね。
今度開店するお店の準備ができればCDも置いてPR販売したいと思うけど
如何ですか？3日に沖縄に移動だからライブ行けないけど頑張ってください。
いつも応援してます。STEVEより。

*「八月の恋人」のギターソロ、配信では辻畑さんが、
CDではBaghdad Guitarさんが弾いているそうです。

“キャンペーン終わって” インタビューpart 2 みしま・カオル編
#####

○みしまのちょっといい話&これからやらなきゃのこと

9月30日の東戸塚オリンピックイベントにて、みしま・カオルさんに
9月半ばから行ってきたキャンペーンのことを聞きました。
横にはお忙しい辻畑さんに変わって、当メルマガでも「ピカソとの時間」
好評連載中、何でも知ってるメトロノーム技術部長こと
最上さんにも加わってもらいました。

——キャンペーンどうだったですか？

みしまさん(以下 み)

「キャンペーンねえ〜いっぱい勉強したよ。FMとか全部初めてだから。
いまトークが課題なんだよね。なに言っているのか分からなくなっちゃう。
助けを後ろとか横に求めちゃうんだよね。」

——今回のキャンペーンライブハウスだったりこういうスーパーのイベント
会場だったり・・・よく考えるといろんなところでやるんですね。

み「楽しいですよ(笑)。さっきも、あっちの席にいるお父さんと子供さんから、
さっきのステージの歌の感想を、ナプキンにメッセージ書いてくれたの。」

——ほおお〜すごい。

み「『もうちょっと高音は外さないように』って。(笑)今日一回目で音
外しちゃってさーイゴゴチわるくて
『あべ静枝のように、引いたり、ささやくところがももうちょっとほしい』
って。でも『素質は十分!』って太鼓判もらったよ。」

——へー・・・なぜにあべ静枝(笑)・・・その人って専門家なのかなあ？

み「わかんないけど、そういうのうれしいよね。」

——なるほど。世田谷FMはイロイロありましたけど（本番前「SAYONARA NO.5」
CDを局の人もメトロノーム関係者も持っていなくて、その場にいた私
（サトヨコ）に借りたということがありました。10号参照）
その後のFM出演は、私たちも残念ながら聴けなかったですが、どうでした？

み「入間とか武蔵野のときは楽しくて、緊張もしなかったよ。
入間ではコーナー終わっても番組に最後までずっといて、
色々聞かれてさー答えたよ。修学旅行について語ったりして。」

——コメンテーターみたいに？

み「そお。それから、エコーで遊んじゃったよ。
パーソナリティーのひとが『す・て・き』ってエコーでささやくの。
私もそれがやりたくて、やらしてもらったんだあ〜
「カ・オ・ル」とか言ったりして(笑)。
だから、これからFMでは遊んじゃうことにしたの。」

——そういえば、世田谷FMでも言ってましたけど「SAYONARA NO.5」や「雨女」を作曲したLOUさんてどんな方なんですか？

み「『YAWARA!』ってアニメあったでしょあれのエンディングテーマの『いつもそばに君がいた』って曲を歌ってた人なの。」

最上さん

「昔キティでレイジー・ルーズ・ブギーってバンドがあって、・・・歌ってみればわかるよ。」

み「♪ペ〜ィ〜ジーをめくるの〜（と歌ってくれました）その歌すごく好きで、カラオケ行った時もいつもひとりでマニアックに歌ってたの。で自分の曲がそうだって最初しらなくて、分かったときすごく感動したの『えーっ！！あの曲の人なんだ！』って。で、私と同じ愛知県出身なの。」

——なるほど、そうだったのですか。このキャンペーンやライブで嬉しかったことは

み「ライブやって『よかったよ』とか応援してくれる人にふれたときは、すごい嬉しい。ベルズのライブの時に、CD買ってくれた双子のコが『よかったですよ』って言ってくれたときは『ありがとう〜』って感動して泣いちゃいそうだったよ。そうやって共感してくれる人に出会えると励みになって、頑張れる。それから（同じベルズライブのとき）あものファンの子が『マイ・スウィート・コンプレックス』を歌ったときに、手拍子してくれて、それが目に入った瞬間嬉しくて“ニカーッ！！”って笑って私も手拍子したの。もうあのときは楽しくてしょうがなかった。もう、ぶっ飛んじやった(笑)」

——じゃあこれからはラジオと・・・

み「そう、ラジオとライブ。やっぱ生で歌ったのを聞いて、いいなって思ってくれることが一番嬉しいし、私もいっぱい歌っていきたいからね。」

——後は新曲？

み「それは・・・（横にいる最上さんに向かって）お願いします。（笑）作詞はね、この前（東）純二さんに一曲がんばって任されてるのがあるの。『この曲はみしまに任せたから、どれだけかかってもいいから詞を完成させるように』って。一回（詞を）つけたんだけど、合格点もらえなかったの。だからいつかそれがOKになるよう作詞頑張ります。」

——じゃあこれからの課題は

み「ライブと作詞と・・・トーク(笑)。課題はいっぱいあるよー」

ということでした。

当日はライブハウスと違うe-stageの雰囲気、かなり緊張気味で「なんかアヤシイ動きしてるでしょー」なんていっていたみしまさんですが、その後のステージもラジオのパーソナリティの人との掛け合いや、ステージに上がって遊ぼうとするお子様軍団と楽しく共演したりと、なかなかなものでした。

●●●●●●●●●●●●●●●●ピカソ通信11号の予告●●●●●●●●●●●●●●●●

